

練習船の歌

海洋会横浜支部会議室にて

商船校の生徒にや

齊藤 光 氏 採録



商船校の生徒にや

商船校の生徒にや娘がほれる
ほれちやいけない苦勞する
どおせおいらは太平洋の
沖の鳴が恋人よ恋人よ

沖の鳴が恋人ならば
私しやなりたや鳴鳥
どこのどこまで
あなたとともに
ついて行きたい心意気心意気

つれて行きたは
やまやまなれど
行き先定めぬマドロスの
女心を知らぬじやないが
これが男の生きる道生きる道

船の歌

船の歌
船の着きに 幼い夢に
いつも描いた 練習船が
若い命は 羅針儀まか
伊達にやっけない

海青春 飛沫をあげて
晴れの船出だ 練習船だ
風は追い風 総帆展は
空も傾く 水平線

たぎる南海 スコール浴
鍛え抜くのも 練習船だ
明日は北上 マストの
北斗も凍るか 風下

今に船長 憧れ土官
希望溢れる 練習
船で暮らせば
波に浮き寝の

海の日 練習船
勇む男の 練習船
潮路果てない
しばし夢見る

